



水のひびき

消防操法の意義と目的

消防操法は、消防団員が消火技術の向上並びに初期消火のため必要な技術を身に付け、いかなる状況下においても、迅速、確実、かつ安全に行動できるように、主要な消防用機械器具の操作及び取扱いの基本を定めたものです。



第26回坂戸市消防団 消防操法大会

日時:平成22年7月25日(日)
7:30開会

会場:川崎陸送株式会社 坂戸流通センター
坂戸市につさい花みず木1-4-2
最寄りの交通機関:坂戸市内循環バス西コース
「サン・ビレッジさかど」下車徒歩2分

消防団員は定職を持つかわらで、就業前の早朝、または就業後に自主的に集まり、消火技術向上のため日頃より訓練をしています。その成果を試す機会が、消防操法大会です。

地域の皆様には、どうか暖かいお言葉が団員の原動力になります。訓練する消防団員を見かけたら、是非ご声援下さいませお願いします。

入西分団第3部団員(団員歴八年)

三田 恒次さん

飯能信用金庫新狭山支店勤務



川越育ちの
三田さんは縁
あつて坂戸市
に転入してき
ました。そし

て、地域に早く馴染むために消防
団への入団を自ら選んだそうで
す。

入団時は、仕事や家族と一緒に
いる時間に制約ができるのではな
いかと不安を抱いていたものでは
ないが、多少の制約はできても、家
族と一緒にいる時間はかえて内容
の濃いものになつたと、にこや
かに話します。
その姿は三人の子供を持つ三十八

歳の普通のお父さん。

入団して良かったことは?との
問いには《仲間》が増えたことと
即答した。消防団での活動や仲間
との交流の中で、自らの話しの幅
も広がり、それが仕事でもいきて
いるという。「サラリーマンだか
ら(団活動は)できない」と決めつ
けず、一歩踏み出せば新たな経験
ができる」と語る言葉には、団活
動で多くの経験を得られたからこ
その自負が感じられた。

職場では支店長代理。楽な立場
ではない。それでも「(団活動と)
両立できる」と
言う発言に
は坂戸市への
愛着が感じら
れた。



栗原団長より辞令を
受ける新入団員



辞令交付式

平成二十二年四月四日(日)に勝
呂公民館において、平成二十二年
度坂戸市消防団辞令交付式が行わ
れました。

当日は、栗原団長より新入団員
十四名を代表して坂戸分団第2部
の高橋永次さんが辞令を受けまし
た。それぞれの団員が消防団員と
しての第一歩を踏み出し、これか
らの活躍が期待されます。

坂戸を守る消防団の紹介
坂戸市消防団大家分団第2部

第二回目の発行となり、今回ご紹介するのは、坂戸市消防団大家分団第2部です。

坂戸市と日高市の境に詰所があり、年齢は二十代から四十代で構成されており、ほとんどの団員がサービス業に就いています。

取材当日、詰所に着くと一人ほうきを持ち掃除をしている団員がいました。後に掃除をしていた団員は浅見部長であることが分かり、案内され中に入るとよく整理整頓された大変美しい詰所に驚きました。

浅見部長に話を伺うと、私達



のアピールポイントは「役職に関係なく団員同士の仲がとても良いことです。」と話していました。

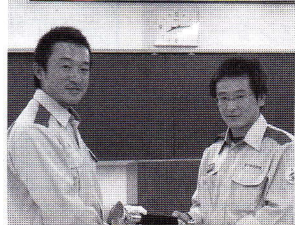
部長だから掃除をやらさない。後輩だから掃除をするということとは言いませぬ。また、休みの日は消防団の行事に関係なく仲の良い団員同士で食事に行ったり、バイクのツーリングに行くそうです。また、地元地域のお祭りに消防団として参加したりと、自主的に活動を行っており、地元地域との関わりを大切にしています。

新入団員の確保が難しい中、団員十名（欠員三名）で地元地域の安全のために消防団活動をしています。

多機能部隊 辞令交付式
ラッパ隊



多機能部隊の新任隊長には菅原龍雄団員が任命され、ラッパ隊長は市村豊団員から福田真人団員にその任が引き継がれました。

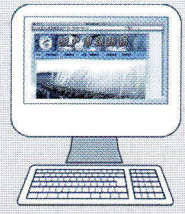


坂戸市消防団HP開設

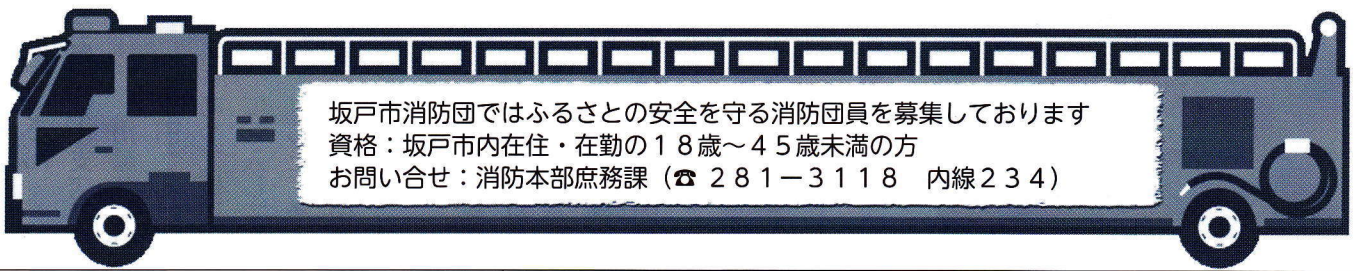
坂戸市消防団では3月18日にホームページを開設・公開いたしました。

消防団の活動情報を定期更新いたしますのでご期待下さい。

<http://sakado-hikesi.jp/>



坂戸の未来を守るのはあなたです！



坂戸市消防団ではふるさとの安全を守る消防団員を募集しております
資格：坂戸市内在住・在勤の18歳～45歳未満の方
お問い合わせ：消防本部庶務課（☎281-3118 内線234）

「水のひびき」に託す思い

火災を鎮めるのは水である。その水も台風や大雨で浸水や洪水を引き起こす。消防団は、ときに水防団となり、猛り狂う炎や荒れ狂う水から我が愛すべきふるさと「坂戸」を守り抜く。

炎や水との壮絶な戦いを見事、鎮火・鎮圧させて引き返す。「カンカーン」と街中に響く鐘の音。大きな任務を遂行し、疲れ切った中にも安堵と誇らしげな表情に団員たちの強い責任感と使命感が垣間見える。「水のひびき」は引き上げの鐘の音とともにある団員たちの真剣な眼差しと穏やかな笑顔の象徴に他ならない。



「水のひびき」創刊号

編集後記

二回目の広報「水のひびき」はいかがでしたか？地域の皆様にも少しでも消防団活動の内容を知って頂き、理解して頂けると嬉しいです。

次号もより良い「水のひびき」をお届けできるように頑張ります。

広報委員会一同

